

2020年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ佐倉)

回収数/配布数: 14/14

回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	36%	43%	21%	状況によっては手狭に感じることがありますが、中庭や近隣スペース等の活用を積極的に行い、一人ひとりが可能な限りのびのび過ごせる環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	64%	36%		基準より多く配置していますが、活動内容によっては配置が十分でないと感じることもあります。職員間の情報共有・連携を大切にしながら対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%		建物全体がバリアフリーになっています。トイレは車イスの方でも入れる広さで手すりも設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	71%	29%		今年度は新型コロナの影響で特に前半は事業所全体で話し合う時間の確保が難しい状況でしたが、徐々にこれまでの形に戻り、多くの職員が積極的に改善への意見を出せる環境になってきています。引き続き、優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。今年度は新型コロナにより支援を一部縮小することもあり思うように改善が進まない状況でしたが、保護者の方からいただいたご意見は真摯に受け止め、改善を進めていけるよう意見を出し合っているところです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページ上にて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			今年度の前半は新型コロナにより研修の機会の確保が難しいこともありました。徐々にこれまでの形に戻り、月に一度は研修の機会を持つことができています。また、強度行動障害支援者養成講座の基礎研修に1名参加することができました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	93%	7%		丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、ツールを活かしきれていないケースもあるので今後の課題として引き続き取り組んでいきます。

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	71%	29%		日頃から職員間で意見を出し合い、様々な視点を持ちながら可能な限り活動の偏りが出ないように心がけています。準備や振り返りも都度行っていますが、十分でないケースもありますので、プログラムの実施はもちろん、その前後も大切にしながら継続していきます。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	93%	7%		新型コロナで制限がある中でも「どのような活動ならできるのか」職員間で意見を出し合い少しでも活動内容が充実できるよう工夫しています。今後も個々の意向を最大限尊重しつつも、様々な活動に目を向けられるような提案を行っていきます。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	64%	36%		細やかな課題の設定が難しいこともありますが、それぞれの時間・過ごし方の中でできることを日々模索・検討しながら支援しています。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	64%	36%		計画の中で明確に位置づけされていないケースや課題もありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	93%	7%		毎日支援前ミーティングを行い、担当や特記事項等必要な情報を共有・確認してから支援に臨むようにしています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	58%	21%	21%	退勤時間がまちまちで全職員が集まる形で支援を振り返る場を持つことは難しい状況ですが、毎日業務日誌を用い利用者の気になる言動や個々の気づき等は共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			活動中に補助記録用紙も用いながら正しく記録できるように取り組んでいます。支援の検討や改善まで繋がらないケースもあるので、引き続き課題として検討を進めます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			基本的にモニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、モニタリング調整会議を開催し、時間をかけ丁寧に行うようにしています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	79%	21%		ガイドラインの理解に差があり、事業所内で共有しながら理解を深めていく必要性を感じています。活動内容自体はガイドラインに沿ったものを提供しています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には基本的に児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	93%	7%		新型コロナにより例年と比べると連携が十分とは言えない時期もありましたが、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができています。

関係機関や保護者との連携

22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	43%	57%		主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りとなっています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		現在の利用者は小学校高学年～高校生の為、就学前に利用していた機関との関わりはほとんどありません。必要に応じて情報共有できる体制は整えています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		市によっては専用のファイルがあるので、それらも活用しながら必要に応じて情報を提供できる体制を整えています。相談支援事業所との連携は密になってきています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ってはありますが、十分とは言えません。引き続き、より良い連携方法を検討していきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7%	36%	57%	元々課題でしたが、今年度は新型コロナにより地域への外出もほとんどできず、同一敷地内の高齢利用者との定期交流も自粛した為、機会を持つことができませんでした。今後の状況を鑑みながら、どのような形で交流する機会が持てるか検討を進めます。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			今年度は新型コロナの影響で開催回数が減少しましたが、開催時には担当者が参加し、その場で得られた情報は職員間で共有しています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日頃からこまめに状況を共有することができています。今後も継続することで理解を深めていけるように努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	36%	57%	7%	ペアレント・トレーニング等を行うまでには至っていませんが、保護者からの質問等には都度可能な限り回答するようにしています。今後専門性を向上させることで保護者の対応力も向上できるよう引き続き学びを深めていきます。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じて都度丁寧に対応しています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	79%	21%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作りを心がけ、傾聴の姿勢で対応するようにしています。困難ケースが増えてきており十分な助言に至らないこともあるので、スキルを向上させていけるように努めます。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	36%	43%	21%	今年度は新型コロナにより保護者同士が交流できるような場を持つことができませんでした。次年度は何らかの機会が持てるよう検討を進めます。

保護者への説明責任等	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			これまで苦情が入るようなケースはほとんどありませんが、体制は整備されています。日頃から丁寧な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%			行事等は都度お知らせを配布しています。活動内容は月に一度の事業所内広報紙の発行と不定期のブログにて報告する形を取っています。今年度よりおやつ献立表も毎月発行しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	93%	7%		それぞれの特性や状態に合わせた個別対応がとれるよう配慮していますが、十分でないケースもあります。今後も事業所全体でコミュニケーションスキルが向上できるよう取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	57%	29%	今年度は新型コロナの為、地域の方と交流する機会などは持てませんでした。今後も状況を鑑みながら、どのような場を創出していけるか検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	79%	21%		対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。特に今年度は新型コロナの発生により状況が日々変化していった為、必要に応じて都度対応のまとめを作成・配布し、理解が深まるよう配慮しました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			施設全体の訓練に加え、7月、11月の年2回事業所単位でも訓練を実施しました。必要な動きの確認や課題等が出ればその都度共有しながら対応しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を決め、定期的に研修する機会を設け、対応を周知・徹底できるように努めています。また、強度行動障害の対象児を中心に支援手順書を作成し事業所内で統一の支援を提供しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのあるこどもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	86%	7%	7%	基本的に医師の指示書はいただいいてませんが、保護者からの情報に基づき対応しています。
43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で回覧するとともに会議等の場でその都度共有し次に活かせるようにしています。	

2020年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ飯野)

回収数/配布数: 13/13

回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	46%	54%		今年度は、新型コロナウイルス感染症もあったため公園や散歩などの外出機会は少なくなりましたが、利用人数によりスペースが十分でないと感じる時には積極的に庭に出て分散するなど工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	77%	23%		基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動があるため、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	15%	23%	62%	民家を借りての活動のため、段差や階段がありますが、階段には手すりを付けたり、滑り止めをつけ転倒防止をしたりと活動しやすい環境作りに努めています。また、職員同士で危険箇所がないか意見を出し合い整備していくよう心がけています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	77%	23%		以前より多くの職員が業務改善への意見を出せるようになってきましたが、出勤頻度に差があるため十分とは言えません。全職員の意見が聞けるようアンケートを実施するなど工夫をしています。出た意見に対しては優先順位をつけながら、改善を進めていけるよう努めています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施し、保護者の方から頂いた意見は真摯に受け止め改善するよう心がけています。また、保護者の方の意向等を把握した上で検討をすすめ、2020年4月から毎週土曜日開所することにしました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は行っていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	92%	8%		事業所としては月に1回開催を基本としていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で開催数が減ってしまいました。2021年度は、研修回数や内容を充実させスキルアップに繋げていけるよう努めていきます。また、虐待防止に関する研修を行うなど、より理解が深められるよう取り組んでいきます。外部研修の情報も共有し、各々参加できるものに参加していきます。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			日頃から子どもたちの様子を共有しながら、丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	77%	23%		統一のアセスメントシートを使用・活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	62%	38%		会議の中で職員から意見をもらいながら、チームとして立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	69%	23%	8%	職員からの新しい意見を積極的に取り入れ、季節などに応じて柔軟な対応ができるように努めています。今年度はアールブリュットを取り入れ、物作りの楽しさや達成感を感じ取ることができるよう努めました。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	62%	38%		日によって状況が異なるため、より明確なものを打ち出せるように事前準備を充実させていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	69%	31%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況に合わせて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	92%	8%		支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を共有しています。送迎時間が早い日にはミーティングを行えない場合もあるため、改善に努めます。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	54%	31%	15%	退勤時間がまちまちのため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日に話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気付き等を共有できるよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	92%	8%		正しく記録をとり、支援に繋がっていますが、個々に差があることが課題のため、スキルアップを図り、支援の改善・検討に繋がっていけるよう努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	92%	8%		モニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	69%	31%		ガイドラインの理解に差があり、日によってもバラつきがあります。今後も全職員がガイドラインの理解を深められるよう会議や研修などで周知していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			状況に応じて、児童発達支援管理責任者や担当者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	92%	8%		引き渡し時や電話で連絡を取り合い、連絡調整しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	38%	54%	8%	現在該当者はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるよう検討します。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行えていないのが課題です。連携の強化に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			該当する機会があればそのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			児童発達支援センターと連携をとり、定期的に研修に参加するようにしています。今後より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		31%	69%	現在、放課後児童クラブや児童館と交流する機会はありません。今年度は新型コロナの影響もあり交流することの難しさを特に感じました。今後、保護者からの要望などがあつた際は、前向きに検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	85%	15%		日頃から発達状況や課題については、こまめに共有するようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	31%	46%	23%	事業所だけでは対応が難しい場合は、学校と連絡を取り合い共有しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう、学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	62%	38%		常に傾聴の姿勢で保護者が相談しやすい雰囲気をつくっていますが、十分な助言に至らないこともあるので、職員のスキルを向上させ風通しのよい事業所にしていけるよう努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	31%	62%	7%	今年度は新型コロナの影響もあり、保護者会が中止になってしまいましたが2021年度は開催を検討しています。開催にあたり保護者のニーズを聞き取りながら、今後更により良い機会を設けられるよう努めていきます。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	69%	31%		体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報紙の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	85%	15%		個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。定期的に保護者の方と話し合い、希望に沿って対応しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	38%	38%	24%	近隣住民から野菜やお菓子を頂いたり、一緒に道路の清掃を行ったりと良好な関係が築けています。事業所の行事への招待は難しいのが現状です。今年度は開催ができませんでしたが風の村さくら秋祭りが開催された際には、そこに参加することで地域住民のみなさまと少しでも関われるようにしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	93%	7%		毎年お手紙を配布しています。マニュアルの内容に関しては、状況に合わせて見直し、より整備されたものを策定できるように努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			火災・地震時の避難訓練は年2回、防犯訓練は年1回実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	93%	7%		今年度は新型コロナの影響で研修の回数が減ってしまいましたが、虐待防止委員を選出し、委員が中心となり定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。該当者がいる際は、丁寧な説明を心がけ計画書を作成しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	85%	15%		アレルギー・発作・食事制限がある方に関しては、都度本人や保護者に確認をとって対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を全職員で閲覧するとともに、会議の場で必ず共有し、次に活かせるようにしています。

2020年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ土浮)

回収数/配布数: 10/10

回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40%	60%		利用人数が多いときには一箇所に集中しないよう庭に設置した大型遊具を積極的に活用しながら活動しています。落ち着けるスペースも確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	70%	10%	20%	基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動があるため、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10%		90%	民家を借りての活動のため玄関・トイレ等のバリアフリー化はされていません。玄関につきましては、新たに手すり付き上り台を設置しました。必要に応じて職員間で話し合い、活動しやすい環境作りに努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	50%		少しずつ意識が変わってきており、多くの職員が業務改善への意見を出せる環境になってきています。引き続き、優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。保護者の方からいただいたご意見は真摯に受け止め、改善を進めていけるよう意見を出し合っているところです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所としては基本的に月1回開催を予定していましたが、今年度は新型コロナの影響で定期的には行えませんでした。虐待防止委員や研修ごとに担当を設置し、知識・理解を深められるようにしています。外部研修の情報も共有し、各々参加してスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、ツールを活かしきれていないケースもあるので今後の課題として取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%		今年度は新型コロナの影響で活動等制限がりましたが、職員間で意見を出し合い、チームとして立案に努めています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60%	30%	10%	新型コロナの影響で活動を変更することもありましたが、利用者の特性をふまえ固定化しないように、過去の活動や多方面から情報を収集し工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	10%	10%	日によって状況が異なるため、より明確なものを打ち出せるよう事前準備を充実させていきます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	70%	20%	10%	計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況に合わせて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	70%	30%		朝礼前に学校お迎えに行くなど、全員揃ってのミーティングが難しい時もありますが、基本的には毎日支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	30%	40%	30%	退勤時間が一定ではないため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日にも話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気付き等を共有できるよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	70%	20%	10%	正しく記録をとれるよう取り組んでいますが、支援の検討や改善までつなぎきれていないのが現状です。今後の課題として取り組んでいきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	70%	30%		モニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	60%	40%		ガイドラインの理解に差があり、日によってもバラつきがあります。会議・研修等でガイドラインの理解を深め、支援の幅を広げていきます。
	関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	20%		連携は取れており、必要に応じて情報共有・連絡調整を日々行うことができます。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	30%	30%	医療的ケアが必要な方はいませんが、主治医の情報は把握できています。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行っていないのが現状です。今後情報共有に努めていきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		該当する機会があればそのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ることはありますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。

の連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%		80%	現状機会が持てておらず課題のひとつとして捉えています。どのようにすればかわる機会が持てるのかを検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		100%		担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	90%	10%		送迎時や連絡帳を基本とし、情報共有を行っています。必要に応じて、電話・面談などでも随時対応しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	20%	40%	事業所だけでは対応が難しい場合は、学校と連絡を取り合い共有しています。専門性を向上できるよう、学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じてその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作り・傾聴の姿勢での対応を心掛けています。十分な助言に至らないこともあるので、少しずつスキルを向上させていけるように努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	20%	70%	今年度保護者会の開催を予定していましたが、新型コロナ蔓延に伴い開催できませんでした。状況が落ち着き次第、開催を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報紙の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意して対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。
非常時	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	10%	70%	新型コロナ蔓延に伴い、地域の方々との交流は持てませんでした。新型コロナが落ち着き次第、少しでも関わられるように検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			毎年お手紙を配布しています。状況に合わせてマニュアルを見直し、より整備されたものを策定できるように努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、定期的に研修する機会を設けています。

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	80%	20%		基本的に医師の指示書はいただいていませんが、保護者からの情報に基づき対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で閲覧するとともに、会議の場で共有し次に活かせるようにしています。

2020年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ作草部)

回収数/配布数: 7/8

回収率: 88%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	29%	57%	14%	車いすの大きな方が一緒に利用すると活動スペースが狭くなる場合があります。車いすやベッドを片付ける等して対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	14%	72%	14%	医療的ケアを必要とする利用者数と担当できる職員数、利用者との男女比率等、バランスを取り切れずに適切なタイミングでケアが提供できない場合もありますが、できる限り適切な配置が取れるよう工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			どなたでも利用しやすい環境が整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	57%	43%		基本的に職場運営に関する事項は職場会議にて検討・決定し、新たに課題が生じた場合には、改めて話し合いを行なっています。イベントの計画・振り返りに計画性がなかったため、次年度の課題とします。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は行なっていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	43%	43%	14%	今年度は外部研修参加→職場へのフィードバックという流れを実現する予定でしたが、新型コロナウイルスによる影響で外部研修への参加を断念しました。次年度以降継続して取り組みます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		面談・アセスメント後に作成された計画に対し、全職員がモニタリングに関わることで、共通認識の持てる計画を作成(更新)できています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	71%	29%		アセスメントツールはありますが、まだ改善の余地があるため、次年度以降に様式の修正を行う予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	43%	43%	14%	今年度は季節行事に係る活動については計画的に行えましたが、その他の活動は当日の朝礼の中で検討するのみでした。また計画をしても、当日の現場の状況で十分な活動ができない日もあったため、次年度は活動について更に職場内での検討を進める予定です。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14%	86%		新しい活動プログラムへの挑戦は行っていますが、偶発的なことも多いため、職場内でのさらなる検討が必要です。次年度に取り組みます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14%	86%		特に長期休暇中は、学校の代わりに身体を整える時間をできるだけ取るようにしていますが、そのほかの活動については季節行事以外、放課後時とあまり変化がないため、次年度は更に活動を充実できるよう検討を進めます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	57%	43%		それぞれの状況をご家族と相談しながら、優先順位の中で活動内容を計画に反映させています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	71%	29%		終日利用時はシフトの関係で朝礼はできませんが、必要事項はホワイトボードや業務日誌等を活用して情報共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	71%	29%		シフトの都合上夕礼に出られない職員もいますが、申し送り事項がある場合には業務日誌やホワイトボードに記入するなど、情報共有できるよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86%	14%		正しい記録は徹底しています。今年度は毎年実施している記録に関する研修を実施できなかったため、次年度は実施予定です。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	71%	29%		全職員が参加してモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	57%	43%		ガイドラインの基本活動を意識しつつも、その時々、利用者の状況等に応じて適切と判断できる活動に取り組んでいます。ただし、ガイドラインについての理解が十分とは言えない状況ですので、改めて来年度はガイドラインについての研修を実施予定です。
	関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか		100%	
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			適切に情報共有しています。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	14%	72%	14%	緊急時にはご家族の判断が主となるため、ご家族の間では緊急時の対応に係る取り決めをしています。主治医との連絡を直接取る必要があるケースは稀ですが、連絡先は把握しています。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		主にご家族から情報をいただくケースが多いです。必要に応じて事業所間連携に努めます。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			昨年度の卒業生については情報提供しました。今後も必要に応じて情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		これまで相談したことはありませんが、必要に応じて相談したり研修を受ける予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%	今年度は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、外部との交流の機会は一切持てていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		100%		これまで参加したことはありませんが、必要に応じて参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	57%	43%		必要に応じてご家族から聞き取りを行なっています。送迎時の会話の中で時折重要な情報を得ることがあるため、意図的・計画的に情報をいただけるよう、更に関係性を深めていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14%	43%	43%	専門的知識の共有という意味では相談に応じていますが、基本的に当事業所ではご家族や学校の対応に揃えています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			重要事項説明書に基づいてご説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	72%	14%	14%	送迎時等に相談いただいた場合には専門家として答えられる範囲で助言し、個別対応が困難な場合には、事業所に持ち帰って相談の上回答しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	43%	14%	43%	毎年年明けに家族交流会を開催していますが、今年度は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、開催を見送りました。状況が落ち着き次第の開催を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	43%	57%		契約時に重要事項説明書に基づいてご案内しています。また、苦情(ご意見)があった場合には、適時適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月3回のブログ更新及び毎月発行の広報紙で当事業所の活動状況についてご案内しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	86%	14%		法人内の個人情報漏洩事故等の事例を共有するなど、危機意識を常に持って日々の対応に当たるようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86%	14%		学校やご家族と足並みを揃えつつ、最も意思疎通や情報伝達しやすい手段の模索を常に行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		29%	71%	新型コロナウイルスの蔓延に伴い、例年行なってきた地域活動も自粛しています。状況が落ち着き次第、地域活動を再開予定です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	43%	57%		すべてのマニュアルの作成を終えています。ご家族への周知が不十分です。より理解いただき、安心して事業所を利用いただけるように工夫します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	86%	14%		毎年2回実施しています。今後も実際の状況に近い訓練の実現に向けて工夫を重ねます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	71%	29%		同施設にある他事業所と共に虐待防止委員会を開催している他、事業所としても事例検討をするなど虐待防止に取り組んでいます。主に正規職員を対象として、毎年1名ずつ、外部研修にも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			契約時及び計画書作成時に必ず説明の上、ご了承いただいています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	86%		14%	医師の指示に基づくご家族の指示をいただいています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	86%	14%		ひやりはっと事例が発生した場合には、防止策を含めて毎日の夕礼で情報共有しています。ただし、夕礼に出られない職員からの事例報告が少ない状況ですので、より出しやすい環境づくりについて検討します。

2020年度 事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

回収数/配布数: 11/12

回収率: 91%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	45%	55%		食事以外は、テーブルを端に寄せることによりスペースを広く使うようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	91%	9%		食事やトイレ介助が必要な場面が多いため、配置基準より多めに配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	73%	27%		館内段差等はなく、トイレについても手すりやベンチシートを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	45%	55%		改善点等の意見を職場会議や夕礼にて挙げてもらい、それに対する具体的対応を話し合い、実践後点検するという形を取っています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			年に1回利用者アンケートを実施し、ご意見を参考に運営しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しており、年に1回更新しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内の同事業間で点検を実施し、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	82%	18%		月1回の職場会議内において研修時間を設けています。法人としても年4回、権利擁護等の研修を重点項目として位置づけ行なっています。外部研修についてはコロナ禍のため参加はありませんでした。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			面談や送迎時の会話、1年に1回記載していただくアセスメントシートからニーズや課題を把握しています。家庭と同じ方向性でアプローチし成長につなげていけるようサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	73%	27%		アセスメントシートに日常生活動作の自立度等を確認する項目はありますが、適応行動の状況をはかる内容にはなっていないため、法人内の同事業所間で改善に努めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	55%	36%	9%	毎月の職場会議や今年度より実施している土曜イベント会議において、利用者の成長や楽しみにつながることを意識しながら活動内容を話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	64%	36%		活動がマンネリ化しないようイベントを企画したり、おもちゃの入れ替えを行う等しています。また活動の幅を広げていけるよう、これまで行なっていなかった遊びを試してみる等しています。

適切な支援の提供

13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	55%	45%		朝礼にて利用者毎の支援上の留意点や課題を共有し支援を行っていますが、平日・休日・長期休暇に応じて課題を設定しているとは言い切れない現状です。休日や長期休暇については活動時間が長いので、平日時間が短くあまり屋外での活動ができない分、積極的に屋外で活動することを心がけていますが、区別化が不十分なので改善するよう努めていきます。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	64%	36%		元々集団活動が少ないので、今年度は外部のインストラクターを入れて集団での音楽活動を考えていましたが、コロナ禍で実施できませんでした。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			朝礼を実施し、その日の支援内容、個々の利用者に対する支援上の留意点や安全上の留意点等を共有しています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	82%	18%		夕礼を実施し、一人ひとりがその日の活動について感じたことや、気付いた点を述べてもらう時間を設けています。それを受けて、翌日以降の支援において利用者に対し新しいアプローチをしたり、ひやりはっと等を共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	73%	27%		記録については、個人的な感想や見解を書かないことを徹底しています。必要に応じ、利用者の気になる行動がいつから見られるか等の振り返りに活用しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	55%	45%		原則6ヶ月に1回モニタリングを行ない、必要に応じ計画を見直しています。日々の朝礼・夕礼や月1回の職場会議等で、利用者の状態に変化があれば共有し、期中であっても見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	45%	55%		複数の基本活動を組み合わせていますが、これまでガイドラインに対する理解が十分ではなかったため、職場研修にて取扱いました。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加することとしています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			送迎時に情報共有を行なっています。
22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	27%	64%	9%	医療的ケアが必要な利用者の受入れは行なっていません。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			保護者からの情報のみではなく、必要に応じ児童発達支援事業所の支援計画等を支援の手掛かりとすることがあります。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		問合わせがあれば、情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		児童発達支援センターとの連携はこれまで行なっていません。発達障害者支援センターについては、主催の研修に参加することがこれまでにあり、今年度も申込みをしましたが、緊急事態宣言発令により中止になりました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18%	27%	55%	外部団体との交流はほとんどないため、公園に出掛けた際の地域の人とのふれあい等を大切にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	参加できていないため、機を見て参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	82%	18%		連絡ノートや送迎時・保護者面談等でのコミュニケーションを通じて、利用者の状況や課題について共有を図りながら、時には学校とも連携して支援を行なっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	18%	55%	27%	ペアレント・トレーニングの機会は持っていません。保護者からのご相談に可能な限り応えられるようスタッフの資質向上に努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	36%	55%	9%	保護者からのご相談は、基本的には児童発達支援管理責任者が対応しています。必要に応じて学校や相談支援事業所とも連携して少しでも保護者の負担が軽減されるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	45%	55%	年に1回保護者会の実施を考えていますが、昨年度は参加希望者がほとんどおらず開催見送りとなり、2020年度はコロナ禍のため実施していません。コロナ終息後、企画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	91%	9%		苦情受付に関し、契約時に事業所・法人・外部機関各窓口の案内を行なっています。苦情を受け付けた際には、法人で定められた規程に則って対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	64%	27%	9%	隔月で会報を発行し活動内容を紹介しています。行事予定や緊急時の連絡体制等の案内については、会報とは別に適宜書面にて行なっています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	73%	27%		個人情報に記載されているものについては、施錠可能な場所に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	45%	55%		文字盤やジェスチャー、メール等を用いてコミュニケーションを行なっています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	18%	55%	27%	事業所としては行なっていませんが、複合施設としては、サロンや地域食堂等の活動を行なっています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	82%	18%		状況毎の対応方法について、年度始めや流行時期にお手紙を配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	82%	18%		年に2回法令で義務付けられた通報・消火・避難訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	91%	9%		法人として年に1回「権利擁護」をテーマとした研修を行なっています。事業所としても毎年行なっています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	82%	18%		指示書はいただいいてませんが、保護者からの情報に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	91%	9%		朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のないスタッフに対しては業務日誌にて周知しています。